

地質・地形サイト

地区	番号	サイト名	緯度・経度	分類	見どころ等(キーワード)	概要	解説板の有無	パンフ記載の有無	保全に関する法的措置
玉之浦	ジ1	島山島西海岸	32°39'30.3"N 128°36'59.8"E	五島層群	大露頭	五島層群の堆積岩が地殻変動を受けて変形し、その地層が海食等により露出。付近は断崖のため海上からしか観察できない。黒瀬崎で急傾斜と水平地層が隣りあう様子、インヤマ瀬付近では五島層群の大露頭が見られる。	○	○	西海国立公園
玉之浦	ジ2	大瀬崎	32°36'45.9"N 128°36'00.2"E	五島層群	大露頭、平行貫入岩	五島層群の断崖の上に灯台が立つ。周囲は森から海までの植物のエコトーンが見られ、生物多様性に重要な役割を果たす。	○	○	西海国立公園 岩脈:天然記念物(市)
久賀島	ジ3	田ノ浦西海岸	32°46'55.0"N 128°50'07.7"E	五島層群	大露頭	五島層群の砂岩・泥岩の白黒互層が海食により露出し、大断崖と共に見事なコントラストをかもし出している。一帯は潮流も早く、潮流発電の候補地とされる。			重要文化的景観 県自然環境保全区域
奈留島	ジ4	舅ヶ島千畳敷	32°48'37.8"N 128°56'52.0"E	五島層群	平坦な地層、サイの足跡	砂岩・泥岩の互層が、海食・風化により露出し巨大なバウムクーヘンのような奇岩となり、舅ヶ島まで繋がっている。サイの足跡化石、貫入岩、淡水棲貝化石あり。珪長質の貫入岩。	○	○	県自然環境保全地域
奈留島	ジ5	宿輪の淡水貝化石含有層	32°50'17.3"N 128°55'15.5"E	五島層群	淡水貝化石	巻貝と二枚貝の化石が産出する。貝は、淡水底息群である。サイ、ワニの足跡あり。	○		貝含有層:天然記念物(市)
福江	ジ6	戸楽海岸	32°42'15.8"N 128°50'55.2"E	五島層群	河川堆積物、採石場跡	江戸時代に切り出された砂岩の採石場跡と言われる。付近の岩場は藩主の専用釣り場といわれ、砂岩上に丸い生質が掘られている。			西海国立公園
福江	ジ7	六方海岸	32°42'44.7"N 128°50'25.1"E	五島層群	五島層群、玉ねぎ状風化	五島層群(戸楽層、凝灰岩)が1m以上の大きさの玉ねぎ状に風化している。海岸に約100m、先の方の断崖にも数十m続いている。			西海国立公園
三井楽	ジ8	三井楽の漣痕	32°44'15.0"N 128°41'55.7"E	五島層群	漣痕	さざ波のあとがそのまま埋もれて固まった地層が、隆起などによって露頭している。堆積した当時の水流の向きや深度などもわかる。三井楽町の白(し)良(ら)ヶ(が)浜(はま)の東端で、道路の改修工事の際に露出した地層上に漣痕が保存されていた。地層は五島層群に属する砂岩層で、走向はほぼ東西で、北に50°の急傾斜をしている。露出面は約5m四方程度であるが、近年表面の磨耗がはげしく、次第に波型の模様が不鮮明になってきた。三井楽町の漣痕は非対称的な断面をもち、流成漣痕に属する。五島層群を示す資料のひとつであるとともに、学術的にも貴重な資料であるため価値がある。			海浜・海域は名勝(国) 西海国立公園 天然記念物(県)
富江	ジ9	天保海岸	32°35'56.8"N 128°44'35.5"E	五島層群/ 玄武岩	五島層群と溶岩の境界	五島層群と富江玄武岩溶岩の境界が見られる。また、南海岸では五島層群の厚い砂岩層が見られる。	○		-
岐宿	ジ10	魚津ヶ崎	32°45'27.3"N 128°44'42.8"E	五島層群/ 玄武岩	五島層群と溶岩の境界、複雑な海岸線	魚津ヶ崎は玄武岩質の細長い溶岩で、外海と内海を分け自然の良港をつくる。立小島では垂直に立つ五島層群が見られる	○	○	西海国立公園
福江	ジ11	堂崎のリンゴ石	32°45'20.1"N 128°50'15.9"E	花崗岩・ 流紋岩	花崗岩類のコア石、砂嘴	海岸に貫入花崗岩類の丸いコア石が点在。奥の砂浜には大量の石英の小粒が見られる。前面の小島とは砂嘴で繋がりが、その上に縄文遺跡もある。			-
岐宿	ジ12	ドンドン淵	32°44'36.3"N 128°47'06.5"E	花崗岩・ 流紋岩	溶結凝灰岩がなす淵	五島では数少ない淵で、数段に分かれている。道路からも近く山道を辿れば淵の上部にも行ける。淵は、水流を固い溶結凝灰岩により阻まれた結果である。	○	○	-
奈留島	ジ13	水晶岳	32°50'35.8"N 128°56'58.1"E	花崗岩・ 流紋岩	双子水晶	希少な日本式双晶の産地。			水晶:天然記念物(市)
梶島	ジ14	鷹ノ巣の柱状節理	32°45'16.6"N 129°00'19.8"E	花崗岩・ 流紋岩	柱状節理、デイサイト溶岩	梶島は、梶島溶岩(12.6Maのデイサイト溶岩)の柱状節理が海食等により露出し、壮大で幻想的な景観が見られる。鷹巣雁木は玄武岩質貫入岩。			-
岐宿	ジ15	登屋ノ首の断崖	32°45'10.5"N 128°43'24.5"E	構造変形	変形地層の大露頭	五島層群の堆積岩が横並び層又は垂直な縦並び層として広大な範囲で乱立している。ワニの足跡化石がある。			西海国立公園
奈留島	ジ16	野首(ノコビ)の断層	32°51'57.6"N 128°53'20.8"E	構造変形	北西-南東方向の断層、黒曜石	五島列島を5つの島に分断した正断層の派生断層が陸上で見られる数少ない場所。剪断帯が50m以上続く。黒曜石岩脈も見られる。黒曜石はクラックが入りあまり良質ではない。			-
福江	ジ17	鬼岳	32°39'26.0"N 128°50'50.2"E	玄武岩	スコリア丘	福江半島部分に一望できる現存するスコリア丘。玄武岩質のスコリアの噴出により形成された噴石丘であり、火山体の底面積に比べて大きな火口をもつので、臼状火山ともよばれる。火口内には紡錘形の火山弾が散在するほか、玄武岩質の粘性の低いマグマが、噴火の際に飛散して固結した粒状の火山涙も見受けられる。火山涙には、球状のもの、引き延ばされたもの、両端がふくらんだものなど種々の形のものがあるといわれる。鬼岳は五島市街地の背後にそびえる噴石丘の中で最大の噴石丘で、底径1.5kmに及び、山頂には北に開口した大きな火口がある。	○	○	西海国立公園 火山涙産地は天然記念物(県)
福江	ジ18	鬼岳降下スコリア堆積物	32°38'58.5"N 128°50'48.7"E	玄武岩	降下スコリア堆積物、タバコ農業	農地整備で露出した鬼岳噴火によるスコリア堆積物。地形に覆いかぶさるように堆積し、湾曲した地層となる。スコリア中の鉄分の酸化具合によって、黒色、黄土色、赤色などになる。			-
福江	ジ19	鏡瀬溶岩海岸	32°38'24.0"N 128°50'52.4"E	玄武岩	溶岩海岸	鬼岳と火ノ岳から噴出した溶岩流の上に、約1万年前に海が進出してできた岩の海岸が7kmほど続く。一部にはパホイホイ溶岩やスコリアラフトが見られる。	○	○	西海国立公園 県自然環境保全地域
福江	ジ20	カヅメ海岸	32°38'28.7"N 128°53'11.6"E	玄武岩	溶岩と降下スコリア堆積物	崎山鼻火山および箕岳の溶岩、噴出物の好露頭。崎山鼻火山は海食によりほとんどが無くなっている。アクセスが良く、火山について学ぶには非常に良い露頭。	○		西海国立公園

富江	ジ21	多郎島海岸	32°36'49.6"N 128°46'45.3"E	玄武岩	溶岩海岸	典型的な縄状パホイホイ溶岩(表面が滑らかな溶岩をさすハワイ語)の姿が残っている。近くにキャンプ場があり、スクアンの体験もできる。			西海国立公園
富江	ジ22	富江の井坑(いあな)	32°35'35.5"N 128°46'29.1"E	玄武岩	溶岩トンネル	日本最大級といわれる溶岩トンネル。野穴～井坑～先不知井坑まで合せて1.4km。ドウクツミズハゼが生息する唯一の場所と言われている。富江溶岩台地に発達した溶岩トンネルのうち最大級の規模を誇るもので、五島列島の地質を示すものとして価値がある。			天然記念物(県)
三井楽	ジ23	嵯峨島千畳敷	32°43'56.2"N 128°35'46.6"E	玄武岩	火砕サージ堆積物	主に火山灰が固まってできた凝灰岩が幾層にも重なり、海食や風化などを受けて複雑な形態を呈している。その広さも含めて天下の奇観で、地層には噴火時の礫も埋まる。	○	○	西海国立公園
三井楽	ジ24	女岳海食崖	32°43'01.7"N 128°35'27.2"E	玄武岩	火山海食崖	火山体の西側は海食により削り取られ、火山噴出物の成層状態や玄武岩溶岩の貫入の様子が見事に露出している。女岳南西部のモグリ瀬では、噴石丘形成の初期の火山活動の噴出物であるよく成層した凝灰角礫岩が露出する。噴石丘(臼状火山)の形成過程を知る上で、「新(しん)魚(うお)目(め)曾根火山赤ダキ断崖」とともに、貴重な地学的資料である。		○	天然記念物(県) 西海国立公園
福江	ジ25	黄島溶岩トンネル	32°33'40.5"N 128°54'10.6"E	玄武岩	溶岩トンネル、祭り	120m余りの溶岩トンネル。奥には正観音が祀られている。奥行は132m、洞穴の高さは1～7.2m、最大幅員5.75m、最小幅員2mである。内部の壁面には流痕、鍾乳石が見られる。模式的溶岩トンネルであって、学術資料としての価値がある。		○	天然記念物(県)
福江	ジ26	黄島の細ヶ岳	32°34'00.5"N 128°53'30.8"E	玄武岩	火山碎屑物	玄武岩質スコリア、火山礫、及び凝灰岩で構成される高さ25mの低山。山の半分以上が海食により無くなっており、山の内部が丸見えとなっている。			-
奈留島	ジ27	前島のトンボロ	32°47'58.8"N 128°55'39.1"E	地形	トンボロ	前島と末津島を結ぶトンボロ(陸繋砂州)は、延長300mもあり、しかも人工物のない良好な自然景観を残しているのは貴重。	○		県自然環境保全地域
奈留島	ジ28	大串のビーチロック	32°51'15.7"N 128°53'28.6"E	地形	ラグーン、ビーチロック	皺ノ浦海岸のビーチロックは、石灰質等により砂礫や貝片が固結し50cmから1m前後の厚さに。生成年代は縄文前期。熱帯亜熱帯に多く、北限に近い。			ビーチロック:天然記念物(市) ハマジンチョウ群落:天然記念物(県)
三井楽	ジ29	高浜海岸	32°42'32.9"N 128°39'36.2"E	地形	砂丘地形	西の海上に嵯峨島を望み、緑に囲まれた白銀色の砂浜と、澄みきった海で知られる日本の渚百選・日本の水浴場88選の地。伊能忠敬の測量日記に高浜は「蛤の名所」とある。南方系植物のサキシマフヨウの群生も見られる。		○	西海国立公園
玉之浦	ジ30	頓泊海岸	32°42'08.3"N 128°39'35.2"E	地形	砂丘地形	白い砂浜で名高く、どこまでも続く遠浅の海が特徴。		○	西海国立公園
三井楽	ジ31	白良ヶ浜砂丘	32°44'07.5"N 128°41'26.8"E	地形	砂丘、ビーチロック	白良ヶ浜の砂が風に飛ばされて谷に堆積し、砂丘をなす。砂は固まり、ビーチロックとなっているものあり。			海浜・海域は名勝(国) 西海国立公園
三井楽	ジ32	柏の石灰質砂岩	32°46'50.2"N 128°40'11.6"E	地形	玄武岩、ビーチロック	ビーチロック、貝化石、クロスラミナあり。溶岩の上位。			海浜・海域は名勝(国)

自然サイト

地区	番号	サイト名	緯度・経度	分類	見どころ等(キーワード)	概要	解説板の有無	パンフ記載の有無	保全に関する法的措置
久賀島	自1	亀河原(かめごうら)のヤブツバキ純林	32°47'18.5"N 128°50'22.7"E	五島の大地と植生	ヤブツバキ群落	久賀島の南西部に位置し、樹林面積は6.7ヘクタールほど。北向きの山の中腹から海岸際まで斜面全体をヤブツバキで覆い尽くした純林。ツバキ林内には他の樹木はほとんどないが、下層にはツブキ、シダ類が一面に広がる。また、管理が行き届かないためか、現在ではツバキ林の大部分をツタズラが覆い尽くそうとしている。ツバキ分布調査では、約10,000本のヤブツバキが確認されている。久賀島ではまた、日本に古くから野生していた日本固有の柑橘類であるタチバナ(現在では希少種となっている)の自生が数本確認されている。		○	重要文化的景観 (長浜のツバキ原生林は天然記念物(県))
岐宿	自2	八朔鼻(はっさくばな)の海岸植物	32°46'09.2"N 128°45'18.0"E	五島の大地と植生	海岸植物:ヒメハマナデシコ、ノアサガオ、ハマサジ、ハマゴウ、ゲンカイミミナグサ、ハマナデシコ、ハマホラシノブ、ネコノシダ、シオクグ	五島八朔鼻は、五島市岐宿町の北端に位置し、地形的には岬の先端にある小島が堆積物によって陸続きとなった、いわゆる陸けい島となっている。その周辺地区を八朔鼻とよび、その地域の海岸は溶岩海岸となっているが、八朔鼻はそれに砂礫が堆積した浜が見られる。したがって狭い地域ながら、福江島で海岸植物が最も多い地区となっている。 (価値)狭い範囲に長崎県に産する海岸植物の約3分の1が生育するという、きわめて海岸植物が豊富な場所である。海岸植物の中にはレッドデータブックに記載されているスナビキソウ、ハマサジ、ゲンカイミミナグサが生育している。また、対馬暖流によって運ばれる南方系種子も発芽しており、ゲンバヒルガオも毎年見られる。	○		県指定天然記念物
福江	自3	鬼岳の草原植物	32°39'37.8"N 128°50'57.1"E	五島の大地と植生 大陸との繋がり	草原植物:ミツバツチグリ、リンドウ、フナバラソウ、アキノキリンソウ、イガクサ、シバハギ 大陸系草原植物:イヌハギ、ツチグリ	鬼岳の草原に生育する植物。野焼きによって維持されている。			西海国立公園
富江	自4	井坑(いあな)のドウクツミミズハゼ	32°35'35.5"N 128°46'29.1"E	五島の大地と貴重な生物	ドウクツミミズハゼ	日本最大級といわれる溶岩トンネルでドウクツミミズハゼが生息する唯一の場所と言われている。			県指定天然記念物
玉之浦	自5	大瀬崎のシマシャジン	32°36'45.9"N 128°36'00.2"E	大陸との繋がり	大陸系植物:シマシャジン	五島層群の断崖の上に灯台が立つ。周囲は森から海までの植物のエコトーンが見られ、生物多様性に重要な役割を果たす。希少な植物シマシャジンや大陸へ渡るハチクマ、アサギマダラが観察できる。	○	○	西海国立公園
玉之浦	自6	高浜～頓泊のカラタチ、サキシマフヨウ	32°42'32.9"N 128°39'36.2"E	大陸との繋がり 対馬暖流の影響	大陸系植物:カラタチ 九州西廻り分布型植物:サキシマフヨウ	カラタチはミカン科の常緑低木で、枝が変化した鋭い丈夫なとげがある。垣根として植えたり、ミカンの台木に使われたりしてよく知られている。頓泊は福江島の西岸にあり、この海岸に近い粗林内に、クロイゲ・フヨウ・ヤナギイチゴ・クマノミズキ・フユザンショウ・ネズミモチなどに混じってカラタチが見られる。もともと中国産と考えられていたが、対馬や五島にまれに自生することがわかった。国内では希少なカラタチの自生地群落としての価値がある。			西海国立公園 カラタチ:県指定天然記念物
奈留島	自7	皺の浦のハマジンチョウ群落	五島市奈留町大串字池塚503-1	対馬暖流の影響	九州西廻り分布型植物:ハマジンチョウ	ハマジンチョウはハマジンチョウ科の熱帯性の常緑低木で、東南アジアから北上分布し、台湾、琉球、種子島を経て、九州西岸を五島列島まで至る。本種は波静かな入り江の奥の海岸に生育し、満潮時には株元は海水に浸る。奈留町大串郷字池塚には、直径100m、短径50mの海跡湖があり、その湖岸に長さ80mにわたってハマジンチョウが群落をなす。ほかに海跡湖の湖岸には、本種とともにヒトモトスキ・シバナ・シオクグ・ハマボウなどの塩湿地植物が自生する。指定地のハマジンチョウ群落は3つの特色を有している。一つ目は、かつて五島列島の入り江各所に存在していたであろう大規模な群落をなしていること、二つ目は群生地が海岸ではなく海跡湖の岸にあること、三つ目はその環境の高い自然度である。いずれの点からも我国第一級のハマジンチョウの群落である。			県指定天然記念物
岐宿	自8	岐宿のタヌキアヤメ群落	五島市岐宿町松山桑木場465	対馬暖流の影響	九州西廻り分布型植物:タヌキアヤメ	タヌキアヤメはタヌキアヤメ科の湿地植物で、夏に族生する剣状葉の間から長い花茎が伸び穂状花序が発達する。花は上下二層からなる黄色の小さいものである。指定地は福江島のほぼ中央の寺脇にある大きなため池である。このほかには珍しいヒツジグサ・ジュンサイ・ヒメコウホネなどが浮き、回りにアンパライ・ミズオトギリ・ヒメミソハギ・シロバナサクラタデなどが茂っているが、タヌキアヤメはこれらの湿地植物に混じって自生している。南方系のもので、鹿児島県の西海岸に知られ、福江島は分布の北限になる。現在は、環境の変化等でその個体数は少ない。			県指定天然記念物
玉之浦	自9	七岳のリュウビンタイ群落	五島市玉之浦町荒川字七岳	対馬暖流の影響	亜熱帯性植物:リュウビンタイ	リュウビンタイはリュウビンタイ科に属するシダで、地下に大きな塊状の根茎があって、これから長さ1m余りの大きな二回羽状の複葉を出している。この葉はやや厚くて濃緑色で美しい。南方系のもので五島列島が北限である。七岳は高さ431mで、荒川から登ると中腹に七岳神社がある。指定の群落はこの登山路に沿う渓流を中心に見られる。この渓流に沿って、バリバリノキ・ホルトノキ・トキワガキ・ヤナギイチゴ・カギカズラなどが見られる。南方系のもので五島列島が北限であるリュウビンタイが大群落を形成しているところに価値がある。			県指定天然記念物
玉之浦	自10	丹奈のヘゴ、リュウビンタイ混交群落	五島市玉之浦町丹奈	対馬暖流の影響	ヘゴ、リュウビンタイ	丹奈は玉之浦湾に臨んだ荒川に近い集落である。指定地は丹奈の集落からさらに2kmほど登った標高100mほどのところである。指定当時の記録によるとここは渓流をはさんでモチノキ・ヤブツバキ・ヤブニッケイ・ホウロクイチゴ・クロイゲ・ナチシダ・オオイワヒトデなどの茂るなかに多量のリュウビンタイと大小40株のヘゴが見られた。近年、小数のヘゴはよく成長しているが、全体としては少なくなっている。五島列島が北限であるヘゴ・リュウビンタイが群落を形成していることは価値がある。			県指定天然記念物

福江	自 11	増田のヘゴ自生北限地帯	五島市増田町二里木場	対馬暖流の影響	亜熱帯性植物:ヘゴ	増田町二里木場の指定地は、大正10年(1921)に県書記の内山芳郎が発見した。内山によると、海岸から2km、標高100m附近を中心に、溪流のほとりでヤブツバキ・シキミなどが茂る中に、高さ5mばかりのヘゴの成木と幼木合わせて20本ばかりがあり、附近にアオノクマタケランやヤマコンニャクも見られたという。ところが、現在は成木にまで成長しているものはなく、幼木が10本程ある程度である。附近にはヒロハノコギリシダ・リュウビンタイ・ケホシダなどがある。亜熱帯性のシダ植物であるヘゴの自生北限地帯として価値が高い。		国指定天然記念物
玉之浦	自 12	玉之浦のアコウの巨木	五島市玉之浦町玉之浦	対馬暖流の影響	亜熱帯性植物:アコウ	主幹は回り10.30mほどで、この主幹の地上3mのところから回り6mもある支柱根が地中におりている。そして、その主幹と支柱根の間を参道が通っている。ところがこの支柱根のほかにもこれに次ぐ支柱根が5本もあるから、この巨樹の格好はまことに怪奇にして複雑で、この樹形の不思議さは驚嘆するばかりである。県内有数のアコウの巨樹として価値がある。		県指定天然記念物
福江	自 13	檜の浦のアコウの巨木	五島市平蔵町1570番地	対馬暖流の影響	亜熱帯性植物:アコウ	アコウはクワ科の常緑高木で、中国南部から台湾・南西諸島を歴て、九州・四国・本州の暖地に分布する。県内では島原半島・長崎半島・西彼杵半島の沿海暖地、五島各地、平戸島から北松浦郡の鷹島、杵岐に大木をみる。根まわり15mを越え、樹高10m以上、東西南北へそれぞれ14、19、12、16mも枝を張る。枝はさらに分岐して錯綜し、その枝からは大小の気根が下垂する。長大なものは地面に達して支柱根となり、四方へひろがる枝を支えている。根元には水神を祀ってある。このアコウは長崎県最大の巨樹であるだけでなく、九州でも第一級の部類に入る。		県指定天然記念物
三井楽	自 14	嵯峨島のアコウの巨木	五島市三井楽町嵯峨島	対馬暖流の影響	亜熱帯性植物:アコウ	嵯峨島の港の北側に火山灰の地層に気根を広げたアコウの巨木がある。火山と亜熱帯性植物という嵯峨島を象徴するような場所。		西海国立公園

文化サイト

地区	番号	サイト名	緯度・経度	分類	見どころ等(キーワード)	概要	解説板の有無	パンフ記載の有無	保全に関する法的措置
福江	文1	江湖の水中遺跡	32°41'00.2"N 128°51'49.3"E	五島の大地	ハイドロアイソスタシー	潮間帯に位置し、満潮時には深さ1mほど海中に没する。出土遺物は貝をはじめとする動物遺体、骨角器、石器、土器などで、土器は九州縄文前期に位置づけられる埴輪式土器のみの出土。土器より5310±40yBPの年代が出ている。			文化財保護法 (埋蔵文化財包蔵地)
福江	文2	大浜遺跡	32°39'14.0"N 128°48'45.2"E	五島の大地	ハイドロアイソスタシー	平地部と海岸部砂浜一帯に広く分布する。満潮時には砂浜の一部が海中に没する。縄文から中世に至る遺構・遺物が発見されているが、中心となるのは古墳時代から古代にかけてである。弥生中期～後期の12体の人骨と副葬品からは、牛の歯が出土。魏志・倭人伝(3世紀の日本には牛馬はいないと記述されている中国の史書)を覆す発見として話題になった。他にも2400年前のドングリピット(中島遺跡)も発見されている。			文化財保護法 (埋蔵文化財包蔵地)
三井楽	文3	ふぜん河	32°46'50.3"N 128°39'51.3"E	大陸との繋がり	遣唐使	遣唐使船の乗組員たちの飲料水として利用されていたとされる井戸。湯水期でも枯れることなく、良質の飲料水として喜ばれた。丸い石を積んで井戸がつくられている。現在も水が湧き出る井戸。うなぎのふーちゃんが生息しているらしい。			日本遺産 国指定名勝
三井楽	文4	岩獄神社	32°46'50.5"N 128°39'50.2"E	大陸との繋がり	遣唐使	遣唐使守護の任にあたり、順風を待っている間に病死したくさり鎌名人を祀った神社。賽銭箱に鎌が置いてある。			日本遺産 国指定名勝
三井楽	文5	空海記念碑	32°47'02.7"N 128°39'52.8"E	大陸との繋がり	遣唐使	遣唐使にとって日本最後の地となった柏崎に建てられた石碑。第16次遣唐使で唐に渡った空海の言葉「辞本涯」を刻む。			日本遺産 国指定名勝
岐宿	文6	白石のともづな石	32°44'37.8"N 128°44'05.5"E	大陸との繋がり	遣唐使	遣唐使たちが船の修理や食料補給、風待ちをするために白石湾に入った際、船のとも綱を結んだとされる石。小さな祠の中に漁業、海上安全の神として祀られている。			日本遺産
福江	文7	六角井	32°41'50.0"N 128°50'35.9"E	大陸との繋がり	明・井戸	井戸枠を六角形に板石で囲み、井戸の中も水面下まで六角形の井壁が板石でつくられ、六角柱を地中にたてたような井戸。この型の六角井は県下に3個あり、所在地はいずれも港町であり、唐船との交渉がもたれた場所である。天文9年(1540)五島領主17代盛定のころ、活躍していた五峰(ごほう)王直(おうちよく)が交易を求めて来航したので、盛定は居城(江川城)の対岸に土地を与え、唐人町を開かせた。その際、来航してきた唐人達が江川城本丸下につくったのがこの井戸であると伝えている。五島における倭寇時代の遺跡の一つ。			県指定史跡
福江	文8	明人堂	32°41'54.6"N 128°50'33.4"E	大陸との繋がり	明	天文9年(1540年)、当時東シナ海を舞台に貿易商として活躍していた明国の王直は、通商を求め福江に来航、財政的に苦しかった領主宇久盛定は喜んで通商を許し、江川城の高台に居住地を与えた(現在の唐人町)。その一画に王直ら中国人が、航海の安全を祈願するために廟堂を築き、その跡が現在の明人堂であると云われる。現在の明人堂の石材は中国から取り寄せ、中国風の瓦葺きや壁画も中国の工人によってなされたもの。			市指定史跡
富江	文9	勘次ヶ城	32°35'22.7"N 128°47'26.2"E	大陸との繋がり	倭寇 玄武岩利用	玄武岩の火山礫で築かれた砦状の大型の遺構。その建築様式から倭寇の拠点だったとされる。江戸時代に勘次という村人が河童と一緒に建てたという伝説から、勘次ヶ城と呼ばれている。			県指定史跡
奈留島	文10	奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)	32°51'18.7"N 128°54'15.0"E	複雑な地形と文化	教会	江上天主堂は、大正7年の建築で鉄川与助の設計・施工。我が国における木造のカトリック教会堂建築のうち完成度の高い作品として、歴史的価値を有する。また、長崎県を中心に多くのカトリック教会堂を手がけた鉄川与助の代表的木造教会堂建築としても重要である。			国指定有形文化財 (世界遺産)
久賀島	文11	旧五輪教会堂	32°48'08.2"N 128°54'13.0"E	複雑な地形と文化	教会	切支丹禁制解除にともない建設された教会堂のひとつで、もと久賀島の浜脇に明治14年に建てられたものを昭和6年頃に現在地に移築したと伝える。昭和59年に隣接して新教会堂が建設されたことともない、五島市に寄贈され保存公開されている。カトリック信仰が盛んであった長崎地方に残る数少ない明治初期の木造単層の教会堂で、在地の教会堂建築の様子を知る上で歴史的に貴重である。			国指定有形文化財 (世界遺産)
福江	文12	堂崎教会	32°45'21.1"N 128°50'14.3"E	複雑な地形と文化	教会	明治41年(1908)に野原与吉により竣工。教会堂は福江島の北東端、田ノ浦瀬戸に面した奥浦湾入口の海岸部に立地する。大正6年(1917)頃に改築。かつては全五島の布教の中核基地であった。また、社会奉仕施設や修道院の草分けでもあり、キリシタン史上からも重要な位置を占めている由緒ある天主堂である。現在は巡回教会となっている。			県指定有形文化財
玉之浦	文13	御岳の魚見台	32°37'30.3"N 128°37'07.8"E	複雑な地形と文化	漁業	御岳の頂上に魚見台の石積み遺構が残る。明治初期から末期にかけての無動力時代に、并持浦湾内にブリの大群が侵入すると、白鳥神社の波止場と并持の波止場を結ぶ一直線に「建切網」を投下し、ブリ等を捕獲した際の「見張り所」として郷民に馴染み深い場所。			西海国立公園 第1種特別地域
福江	文14	石田城(福江城)跡	32°41'35.6"N 128°50'46.3"E	火山と文化	玄武岩利用	石田城は、外国船警備という国防のために江戸時代最後に築城された。日本で最後に建造された海城。石垣には、鬼岳ほかの火山から流れ出た溶岩の石が使われている。		○	城跡は史跡(県)

福江	文 15	福江武家屋敷通り	32°41'28.2"N 128°50'38.3"E	火山と文化	玄武岩利用	福江武家屋敷通りには中級武士の屋敷が残る。石垣は、海岸から運んだ玄武岩の丸石を主体に築かれ、上に小石(こぼれ石)が積まれ、それを押さえる半月型のかまぼこ石(脇石)が特徴。	○	武家屋敷跡は史跡(市)
富江	文 16	富江陣屋の石蔵	32°36'56.5"N 128°45'54.3"E	火山と文化	玄武岩利用	富江陣屋の遺構として、藩米貯蔵の倉庫の石造部だけが残る。富江産の玄武岩の切り石で築かれている。カンコ口棚などにもこの溶岩で作った石垣が多用されており、石の町富江のひとつの象徴。	○	(旧町史跡候補)
福江	文 17	福江大津の岩川	32°41'16.3"N 128°50'51.5"E	火山と文化	玄武岩	五島市大津地区に点在する鬼岳溶岩台地からの伏流水が湧水する場所。地元では、このような湧水地を「かわ」と呼び、洗濯場や野菜の洗い場として利用してきた。農村集落を代表する景観でもあり、福江地区の地形的特色を持った場所である。		長崎県まちづくり景観資産
富江	文 18	富江の円畑(まるはた)	32°35'39.0"N 128°46'18.9"E	火山と文化	玄武岩利用	日本の耕地の原初形とも言われ、五島には丸い畑が各地に見られる。玄武岩の丸石で囲んだ円畑。道路からもその形がよく分かる。		(五島市文化的景観地区候補・景観上重要な農地候補)
三井楽	文 19	三井楽の円畑(まるはた)	32°44'17.4"N 128°40'08.3"E	火山と文化	玄武岩利用	日本の耕地の原初形とも言われ、五島には丸い畑が各地に見られる。昭和30年代に民俗学者宮本常一氏の紹介で有名になった。季節風から作物を守るため、防風垣、楯の防風林で畑を囲う。	○	(五島市文化的景観地区候補・景観上重要な農地候補)
富江	文 20	富江のスケアン	32°36'48.7"N 128°46'51.2"E	火山と文化	遠浅の海、玄武岩利用、漁業	石積みを復元し、観光に活用。典型的な縄状パホイホイ溶岩の姿で残る遠浅の溶岩海岸に位置する。		(郷土誌記載)
三井楽	文 21	三井楽のスケアン	32°45'36.0"N 128°38'29.2"E	火山と文化	遠浅の海、玄武岩利用、漁業	建築時代は不明だが、底部で約1.5m、上部で50~80cm、高さが1mから最高1.5mに積み上げた石塁、約80mにわたって入江を中断している大規模な遺構。		旧町史跡

ビューサイト

地区	番号	サイト名	緯度・経度	分類	見どころ等(キーワード)	概要	解説板の有無	パンフ記載の有無	保全に関する法的措置
奈留島	ビ1	城岳展望台	32°49'55.9"N 128°56'26.0"E	ビュー	奈留島全景	中世紀に奈留氏(土地の豪族)が山頂に城をかまえたことから「城岳」と呼ばれるように。島の中ほどに位置し、複雑な奈留島の地形やまわりの島々が見渡せ、朝日や夕陽も鑑賞できる場所。			—
奈留島	ビ2	小田河原展望台	32°50'44.2"N 128°54'42.7"E	ビュー	奈留瀬戸	隣の久賀島やその間の奈留瀬戸の潮流の速さを観察できる。島々に囲まれた奈留島で、時期によっては海に沈む夕日が見れる貴重なスポット。駐車場のそばには、五島層群の露頭がある。			—
久賀島	ビ3	折紙展望台	32°49'36.9"N 128°52'34.8"E	ビュー	久賀島全景、他の島も	島の住民がコツコツと手作りでした展望台。久賀島の全景だけでなく、福江島、奈留島、若松島、中通島なども見渡せ絶景。展望所のある山は花崗岩よりなる。			重要文化的景観
福江	ビ4	宮原展望所	32°46'17.1"N 128°48'40.9"E	ビュー	久賀島の田ノ浦断崖	目の前の久賀島田ノ浦断崖、奥浦の糸串鼻を観察できる。			—
福江	ビ5	鬼岳園地	32°39'47.9"N 128°51'01.4"E	ビュー	溶岩台地の市街地	平坦な溶岩台地に栄える福江市街地を一望できる。	○		西海国立公園
福江	ビ6	五島椿園	32°39'25.5"N 128°51'18.0"E	ビュー	黄島・赤島・黒島・鬼岳	旧草スキー場の上からは、黄島、赤島、黒島などの島々が見える。背後には鬼岳が間近に見える。芝生の公園となっている。			西海国立公園
福江	ビ7	火ノ岳頂上	32°39'36.6"N 128°51'50.8"E	ビュー	鬼岳	芝生の公園となっている。眼前に鬼岳を望む。その背後に富江半島も見える。			西海国立公園
福江	ビ8	鑑瀬ビジターセンター展望台	32°38'27.6"N 128°50'53.8"E	ビュー	溶岩海岸・鬼岳	鬼岳と鬼岳から流れた溶岩によってできた鑑瀬溶岩海岸の両方が見れる場所。そのほか、箕岳、臼岳、赤島、黄島なども見れる。	○		西海国立公園
岐宿	ビ9	城岳展望所	32°44'36.2"N 128°44'56.1"E	ビュー	岐宿溶岩台地、リアス海岸	城岳は宇久五島家八代寛公が五島に移って、この地に城を築いたことからそう呼ばれるように。展望所からは岐宿溶岩台地や岐宿の町並み、姫島、リアス海岸、干潟などを望む。展望所をさらに山頂遊歩道に進んで行くと、携帯電話の無線中継塔がある第一城岳展望所がある。	○		城跡は史跡(市) 西海国立公園
岐宿	ビ10	山内盆地展望所	32°41'37.9"N 128°43'56.8"E	ビュー	山内盆地	山内盆地の稲作地帯が一望できる。展望所のある荒神岳は、花崗斑岩からなる山。			—
岐宿	ビ11	打折峠	32°44'20.0"N 128°42'42.1"E	ビュー	白良ヶ浜、京ノ岳	白良ヶ浜、京ノ岳が一望できる。嵯峨島、姫島なども見れる。			—
三井楽	ビ12	魚籃観音展望所	32°42'39.7"N 128°39'23.6"E	ビュー	高浜・嵯峨島・三井楽半島	高浜・頓泊海岸の絶景スポット。嵯峨島、三井楽半島も一望できる。			西海国立公園
三井楽	ビ13	女岳海食崖の展望所	32°42'54.8"N 128°35'28.7"E	ビュー	女岳海食崖	陸上から女岳の断面をのぞける唯一の場所。付近には、火山砕屑岩と溶岩の不整合面も観察できる。			西海国立公園
玉之浦	ビ14	赤灯台	32°38'46.0"N 128°36'57.8"E	ビュー	島山島大断崖	島山島の大断崖を陸上から観察できる唯一の場所。	○		西海国立公園
玉之浦	ビ15	大瀬崎展望台	32°36'48.0"N 128°36'28.7"E	ビュー	大瀬崎・玉之浦南海岸・リアス海岸	大瀬崎周辺には複数の展望台がある。大瀬崎、玉之浦南海岸を観察でき、東屋のある展望台。大瀬崎を臨むウッドデッキの展望台(ジオ看板あり)。大瀬崎、および玉之浦内湾のリアス海岸の両方が観察できる展望台。渡り鳥のハチクマの観察に適した、祈りの女神像のある展望台など。	○		西海国立公園